

令和２年度 第２回碧南市民病院運営審議会 議事録

1 日時

令和２年１１月１６日（月）午後２時から午後３時まで

2 場所

市民病院２階 多目的研修室

3 出席者（委員）１４名（順不同）

生田譲委員（会長）、長田和久委員、茂木仁志委員、水野博史委員（副会長）、三島孝二委員、古久根勇次委員、山中寛紀委員、杉浦邦俊委員、禰宜田知司委員、神谷葉子委員、南美紀委員、神谷悟志委員、鈴木玲子委員、對馬幸司委員

4 欠席者（委員）４名

奥村晋平委員、鈴木並生委員、小城康裕委員、森田英治委員

5 出席者（病院側）１３名（事務局担当含まず）

禰宜田市長、亀岡病院長、杉浦誠治副院長、杉浦厚司副院長、金澤副院長、清政看護部長、遠山経営管理部長、伊藤医事経営課長、山田管理課長、榊原管理課課長補佐、高原管理課施設用度担当係長、野村医事経営課企画推進係長、鈴木医事経営課医事係長

6 傍聴者

３名

7 内容

(1) 冒頭

遠山経営管理部長から、市民病院の今後のあり方に関する協議終了後、引き続きで碧南市民病院運営審議会を開催する旨の案内があった。準備が整い、令和２年度第２回碧南市民病院運営審議会の開催宣言があった。

(2) 会議の成立について

遠山経営管理部長から本日の出席者は１４名で、委員の過半数を超えたため、本日の会議は成立した旨の宣言があった。

(3) 傍聴者について

会議の公開に伴う傍聴者について、遠山経営管理部長から、本日３名の傍聴者がみえる旨報告があった。

(4) 禰冨田市長あいさつ

皆さんこんにちは。本日の議題は2つございます。1つ目は碧南市民病院の経営状況ということで、いわゆる今後の見通しがどうなるのかということであります。

2つ目は病棟改修についてで、今後の病床数をいくつにするかというコンセンサスができ、病棟改修計画などについて説明させていただきます。また先ほどの市民病院の今後のあり方に関する協議でご質問があったことについても、この議題のなかで触れていきたいと考えております。以上でございます。

(5) 会長あいさつ

みなさんこんにちは。本日はお忙しいなか、碧南市民病院運営審議会にご出席いただきましてありがとうございます。本日の議事進行役を務めさせていただきます生田と申します。。先程に碧南市長から話がありましたとおり、2つの議題がございますのでご審議の程お願い申し上げます。

(6) 亀岡病院長あいさつ

みなさん、本日はお忙しいなか、碧南市民病院運営審議会にご出席いただきましてありがとうございます。本年4月での新型コロナウイルス感染症の院内感染においては、市民の皆様にもご迷惑をおかけしてすみませんでした。また、温かなお言葉や励まし、クラウドファンディングを含めた多くの寄附金、各方面から多大なるご支援をいただきましてお礼申し上げます。ありがとうございます。患者数が診療制限していた頃から、徐々に回復してきまして昨年と比べて15%弱の減少のところまで回復してきました。それから、昨年の地域医療構想における要再検証医療機関の指定を受けて、病棟改修が延期となり、その後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大で再度延期となっていた病棟改修計画であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえて、また、病棟運営を効率よくすることを考慮して、新しい方針を決定させていただきました。よろしくご審議お願いいたします。

(7) 議題

ア コロナ禍における碧南市民病院の経営状況について

伊藤医事経営課長から「令和2年度月次 入院・外来前年度比較」（参考資料1）に基づき説明を行った。

（生田譲会長）

説明が終わりました。ご質問がございましたらお願いします。

(伊藤医事経営課長)

市民病院の今後のあり方に関する協議でご質問のありました経営改善についてですが、現在は日本経営という会社にコンサルタントを依頼しております。包括ケア病棟の運営企画、病棟改修の各種資料の作成、医薬品や医療材料、各種費用のコスト削減やベンチマークを利用した価格の適正化をしています。必要に応じて価格交渉もしております。

(委員①)

診療所では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で患者数に影響がでており、特に小児科や耳鼻咽喉科では、30%や50%の減少と言われておりますが、碧南市民病院ではいかがでしょうか。

(伊藤医事経営課長)

おおよそでありますと同じ状況です。

(委員②)

昨年度の2月の碧南市民病院運営審議会で、碧南市民病院の決算上で10億円近い赤字となり、この赤字が続くと碧南市としては体力がもたないと発言がありましたが、その碧南市の体力についてどのようにお考えなのでしょうか。

(禰宜田市長)

財政調整基金がおおよそ50億円あります。その財政調整基金で3年ほどは一応耐えられると考えています。それ以上は現時点では分からないが、コロナ禍の状況次第で変わることもあると思われる。3年というスパンのなかで経営を改善していくということです。

(生田譲会長)

他にご質問やご意見のある委員の方はおられますか。それでは、次の議題にうつります。

イ 碧南市民病院病棟改修について

山田管理課長から「碧南市民病院の病棟改修計画案について」（参考資料2）に基づき説明を行った。

(生田譲会長)

説明が終わりました。ご質問がございましたらお願いします。

(委員③)

この病棟改修の議題があがった際は非常にショックを受けた。病床数をこんなに減らして良いのか、その根拠は何であるのかと思った。また、経営改善の効果の項の最後に、住民のイメージの改善効果による病床の稼働率の増加とあるが、本当に市民がイメージするのかと個人的に思った。それから、病床を3人床とするとのことですが、どのような病床の組み合わせをするのか、あと、病棟に多目的室の部屋を作っていますが、職員で有効活用をされると思うが、たんに部屋が空いていると捉えられないかと感じた。心配をしながら応援をしていきたいところです。

(山田管理課長)

まず、255床とした根拠ですが、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の病床利用率が70%ほどでした。病床数319床を70%で換算すると日平均入院患者数が223人という状況です。昨年度に入院患者が250人超えた日数は5日ほどであり、コロナ禍の状況も勘案すると極端に入院患者が増加するのは難しいと考えます。収益とも勘案して、255床が効率的ではないかと結論に至りました。あと、住民のイメージ改善効果の件ですが、病室や壁紙を変えて、電灯もLED化することで、市民の方が入院して喜ばれるような環境を作りたいと考えています。また、4人床を3人床にする件ですが、3人床にすることで、療養環境加算という診療報酬での加算が算定でき、収益につながる部分もあるが、患者のベッド周りの環境改善やスタッフの負担軽減などの1人床分をどのように活用するかを院内で調整中です。多目的室ですが、職員の休憩室が少ない現状も踏まえ、どのように活用するかを院内で検討しているところです。有効活用を図っていきたいと考えています。

(委員④)

病床数を減らしたことについては、碧南市民病院の病床利用率などを考慮すると妥当ではないかと私は感じます。病床数を多くもつと医師やスタッフの負担も多くなるので、現実的な数字で負担を軽減して、充実した医療やケアを患者様に提供できる体制の方が良いと思います。その充実した医療の提供ができるような体制を宣伝やアピールしてほしい。整形外科の病棟であれば、病室のなかで軽いトレーニングができるような機能をもたせる体制など、病棟改修で商業的な宣伝ができると良いと思います。病棟改修も長いスパンのなかでやっていくことなので検討して欲しい。また、コロナ禍でオンラインや遠隔医療の利用なども考えていただいて、医療経営学という学問に長けた医師を育てるなど、碧南市民病院がより

良くなるようにしていただきたい。

(委員⑤)

碧南市民病院に入院したことがある立場で発言させていただきます。入院当時は個室を希望しても空いていない状況でありましたが、現在も個室は希望しても空いていない状況なのでしょうか。個室は増やされるのでしょうか。

(伊藤医事経営課長)

現在も個室を希望されても空いていない状況はあります。新型コロナウイルス感染症対策で、新しく入院された方は1人部屋で様子を見るという方針をとっていますので、個室に1人で入る場合も、4人床に1人で入る場合もあるので、その関係で希望されても入れない状況があります。個室の増加に関しては、公立病院では病床数の3割までしか有料個室を持ってない制限がありまして、その範囲内とさせていただきます。

(委員②)

同じく碧南市民病院に入院したことがある立場で発言させていただきます。入院当時はトイレの狭さを実感していました。図面からトイレが広くなったので良かったと感じました。西病棟と東病棟にあるナースコーナーが1つに集約され、患者を診る範囲が広くなると思われるが、その対応についてどのように考えられているのか。もう一つ、今後で発生する可能性がある新しい感染症などについての対策をどのように考えているのか教えていただきたい。

(山田管理課長)

男子トイレと女子トイレが向い合せで小さかったため、トイレのスペースを拡げることで、ナースステーションを統廃合して集約しております。スペース確保のため、トイレの数は減るところはありますが、点滴器具などを持ってトイレに入ることも可能なようにしているところであります。あと、新しい感染症の対策であります。4階病棟にあります陰圧室4部屋が外に空気をもらさない部屋になっております。今後この4部屋を確保することで新しい感染症に対応していこうと考えています。

(遠山経営管理部長)

ナースステーションであります。トイレの配管上の問題と1病棟となることから指示命令系統を1本化する意味と仕事のしやすさの観点からナースステーションを集約しております。重症患者に関しては、ナースステーション近くの部屋で入院していただき、対応しやすいようにしてありますので問題はありません。

(委員⑥)

もちろん賛成の意見であります、この改修計画は患者の居住性を優先に考えていただければと思います。早速にこの案で実施していただいきたい。患者さんがあまり増えて病床数が足りないと困りますが、採算ベースで考えることも必要だと思いますので、ここは是非とも進めてください。よろしくお願いします。

(委員⑦)

トイレの件ですが、安城更生病院では各部屋にトイレがありました。先ほど配管の話があがりましたが、3人床になる部屋にトイレを設置できないのでしょうか。

(山田管理課長)

3人床にする部屋にトイレを設置することはスペース的には可能と思いますが、配管の問題や工事が大規模になってしまいます。工期の延長は営業しながら病棟改修をする方向のため、患者さんの負担、費用面の増加、収益面の減少が考えられるので、必要な最低限度の病棟改修とさせていただきたい。

(生田譲会長)

その他にご質問やご意見のある委員の方はおられますか。次にその他事項に移ります。その他の事項で何かございましたら説明をお願いします。その他の事項も無いようですので、以上で本日の議題は終了いたします。進行を事務局にお返しします。

(遠山経営管理部長)

会長ありがとうございました。次回の運営審議会の開催は、令和3年2月1日、月曜日の午後1時30分からの開催を予定しておりますので、よろしくお願い致します。なお、本日は長時間にわたりまして、ご協議いただきましてありがとうございました。これをもちまして、令和2年度第2回碧南市民病院運営審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

(全ての予定を終了)